

■ 大源太川第1号砂防堰堤の文化的価値

- ・ 流麗なアーチ形状と練り石積からなる景観、戦前に建設され今なお現存する土木施設としての文化的価値が評価され、平成15年に『登録有形文化財』に登録されました。
- ・ さらに、平成23年には、土木学会による『選奨土木遺産』に認定されるなど、歴史的・文化的価値の高い土木構造物として内外に認められています。

登録有形文化財

- ✓ 有形文化財の登録制度は、近年の国土開発や生活様式の変化等により、消滅の危機に晒されている文化財建造物を幅広く継承していくための制度
- ✓ 建設後50年以上が経過しており、「国土の歴史的景観に寄与する」、「造形の規範となる」、「再現することが容易でない」のいずれかに該当することが必要



土木学会選奨土木遺産

- ✓ 土木遺産の顕彰を通じて歴史的土木構造物の保存に資することを目的として、土木学会が平成12年に認定制度を設立
- ✓ 推薦および一般公募により、年間20件程度が選出



県内の選奨土木遺産10施設のうち、4例目の認定

■ 県内で有形文化財に登録されている砂防施設

登録年月	施設名称	所在地	河川名
平成15年3月	万内川石積堰堤群	妙高市	関川水系万内川
平成15年7月	日影沢石積床固工群	妙高市	関川水系万内川
平成15年7月	大源太川第1号砂防堰堤	南魚沼郡湯沢町	信濃川水系大源太川
平成27年8月	鎌倉沢川砂防施設	南魚沼市	信濃川水系鎌倉沢川



鎌倉沢川砂防施設



日影沢石積床固工群



万内川石積堰堤群

土木学会ホームページ

